

強豪招き 熱い戦い



市制60周年(合併5周年)を記念して5月9日、中池公園で関市硬式野球大会が開催され、関商工高校硬式野球部とラグビー部が、中京大中京高校硬式野球部(愛知県)と伏見工業高校ラグビー部(京都府)を招いて対戦しました。ともに全国大会で優勝

経験のある強豪校で、力あるプレーに押されつつも関商工の選手は健闘し、試合を通して親睦を深めました。また、試合前には吹奏楽部やチアリーディング部、バトントワリング部の演技披露もあり、試合を盛り上げました。

あんな事、こんな事



住民の力で地域を美しく

下白金地区で5月9日、「第30回全国豊かな海づくり大会」を前に地域を美しくしようと、下白金地域保全協議会(西田耕三代表)の呼び掛けで、地区住民約120人が清掃活動を行いました。参加者は各所で道路側溝内の土砂を取り除く作業などを実施。河川環境を守るため、また海づくり大会の成功を願って汗を流しました。

花いっぱい放流会場

「第30回全国豊かな海づくり大会」に向けて、放流会場となる池尻・長良川河畔で5月11日、池尻区の長寿会や区役員など50人が堤防脇にある花壇に、マリーゴールドなど5種類4,000株の花を植えました。同地区では今後も、花の水やりや草引きなどの管理や河川敷、周辺道路の清掃活動もボランティアで協力していく予定です。





友だち誘ってお悩み解決

子育ての悩みをみんなで共有し、相談や楽しい会話で意見交換する「子育ておしゃべり交流会」が千足ふれあいセンターで開催されました。4カ月～3歳の子を持つ親子11組が参加。保育士らとともに不安や悩みに対し、解決方法などを熱心に話し合いました。尾藤市長も一緒に参加して、要望や質問などをお互い気軽に語りました。今後も何度か交流会を開き、地域のつながりを広め、また強めていきます。

こどもの日の元気な歓声

恒例の「ゴールデンウィーク・スペシャル」が、わかさ・プラザで開かれ、多くの親子連れでにぎわいました。竹細工や折り紙、ツイストパン作りなどを体験できるコーナーが人気を集めました。中庭ではキッズダンスなどが行われ、はもみん、ヤマリン、ミナモが顔をそろえ、みんなでダンス教室を行ってイベントを盛り上げました。子どもから「来年もまた会おうね」との声が上がっていました。



僕の腕前 見てて

下之保の殿村集會場で5月13日、地元の武儀西小学校2、3年生と殿村ふれあいサロンのお年寄りが昔の遊びをして交流しました。児童が1人ずつ自己紹介した後、歌に合わせて肩をたたいたり、けん玉や輪投げなどで遊んだりして楽しい時を過ごしました。同サロンでは殿村自治会のお年寄り約20人が2カ月に1回、会費を集めてさまざまな行事を行っています。

海づくり大会にもってこいの銘菓

本町の和菓子処「虎屋」の店主である古田敦資さんが市役所を訪れ、「第30回全国豊かな海づくり大会」を記念して包装に大会名を印字した同店の生菓子「小瀬の若鮎」を販売することを尾藤市長に報告しました。「小瀬の若鮎」は小瀬鵜飼のシーズン合わせて販売される限定商品。古田さんは「このお菓子で大会を応援したい」と話していました。



こぼれ話



いよいよ関市の「史上最大行事」全国豊かな海づくり大会開催が迫ってきました。2年ほど前、海なし県の岐阜県で、そして関市が会場となることが決定してから今日まで、深いご理解の下、それぞれの立場で準備に携わってきた市民の皆さんに感謝と敬意を表します。そして「花プランター応援隊」「和の祭典」「ふれあい交流行事」など皆さんの力の総和がこの大会をつくり上げるものと思います。環境月間でもある6月。開催を一過性で終わらせな

いようにするために「森、川、海が一体となった自然環境の保全」「水と共生する次世代の人づくり」などの重要な基本方針を受けて、市では間伐の森林整備や小学校による絶滅危惧種ウシモツゴの保護・増殖、環境フェアの開催などを今後も進める計画でいます。大会終了後も、これを具現化するための取り組みに引き続きご協力をお願いします。

市民の皆さんとともに楽しい思い出を共有し、これから一人でも多くの人とお話したいと思います。そしてともに次の目標に向かって歩きましょう。